

コンクリートの1日強度の改善に

デンカプラウト-1

急硬性セメント混和材



デンカプラクトー1とは

《デンカプラクトー1》とは、急硬コンクリートを生コンプラントで練り混ぜる事を可能とした新タイプの急硬性セメント混和材です。

1 特長

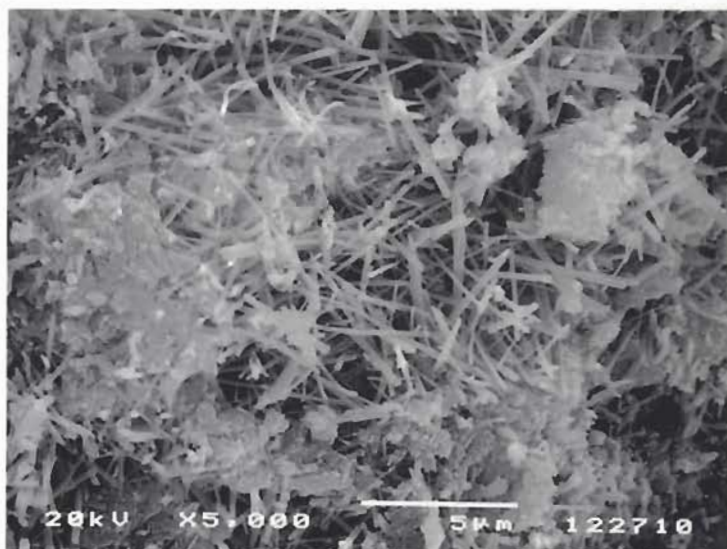
- ① 生コンプラントで急硬コンクリートが練り混ぜできます。
(ハンドリングタイムは2～3時間とれます。)
- ② 普通セメントの作業性をほとんど損いません。
- ③ 低温時の強度発現が優れています。

2 一般的性質

外観：灰白色粉末

比重：2.87～2.93

荷姿：紙袋（20kg／袋）



〈デンカプラクトー1添加コンクリートの水和物〉

3

使用方法

● 添加量

標準添加量はセメントに対して25%（内割）ですが、要求物性に応じ15%より使用できます。

● 作業性（ハンドリング）

《デンカプラクトー1》には凝結調整剤（セッター）が混和されていますが、混和材のため使用するセメント等材料の違いによりハンドリングタイムが変動します。試験練りを行いハンドリングタイムが短い場合には専用セッターを添加して下さい。

● 混練り時間

普通コンクリートより1分程長く練り混ぜして下さい。

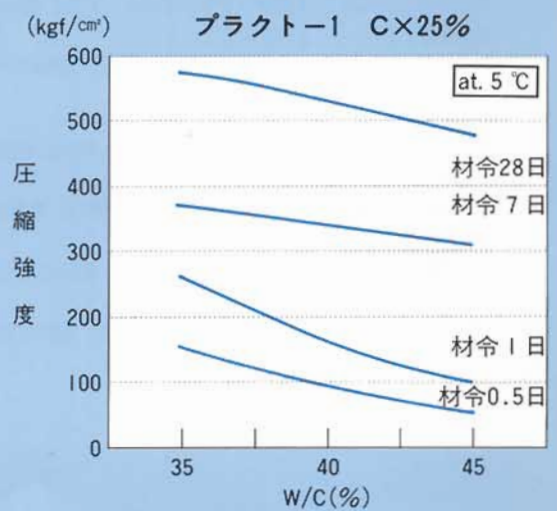
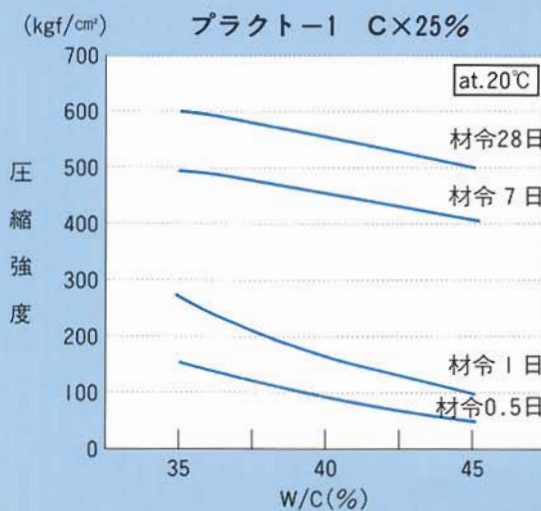
4

プラクトー1添加コンクリート物性の一例

① W/Cと強度の関係 SL=8±2.5cm

配合

No.	プラクトー1 C×%	Gmax (mm)	SL (cm)	Air (%)	W/C (%)	s/a (%)	単 位 量 (kg/m ³)					ダーレックス AEA (C+プラクト) ×0.03%
							W	C	プラクトー1	S	G	
1					35	40	154	330	(440) 110	694	1063	(C+プラクト) ×0.03%
2	25	25	8±2.5	4±1	40	42	152	285	(380) 95	755	1060	//
3					45	44	148.5	247.5	(330) 82.5	812	1052	//

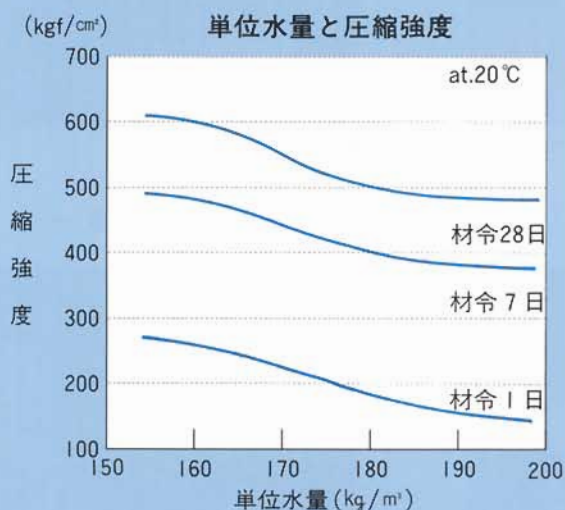


②スランプを変化させた時の単位水量と強度の関係

$$C + \langle \text{プラクト} - 1 \rangle = 440 \text{ kg/m}^3 \quad \langle \text{プラクト} - 1 \rangle = C \times 25\%$$

配 合

No.	Gmax (mm)	SL (cm)	Air (%)	W/C (%)	s/a (%)	単 位 量 (kgf/m ³)					
						W	C	プラクト-1	S	G	ダーレックス AEA (C+プラクト) ×0.03%
1	25	8±2.5	4±1	35	40	154	330 ⁽⁴⁴⁰⁾	110	694	1063	(C+プラクト) ×0.03%
2		15±2.5		37.5	40	165	330	110	684	1044	//
3		18±2.5		40	40	176	330	110	671	1028	//
4		21±1.5		45	42	198	330	110	681	959	//



強度を下げないでスランプを上げたい場合には、流動化剤を併用して下さい。

商品名 《デンカFT-80》

5 使用上の注意

- 施工前に試験練りによりハンドリングタイム、強度物性などの確認を行って下さい。
- 《プラクト-1コンクリート》排出後、アジテーター車・ポンプ車は充分洗浄して下さい。
- 打込み、締め固め、コテ仕上げは、同時進行で行い、硬化後は乾燥防止のためシート養生等を行って下さい。

6 用途例

道路補修へ



コンクリート製品へ



床改修工事へ



トンネル（新トンネル工法）へ



海洋工事へ



橋梁補修へ

